



三田ヶ谷公民館だより

令和 8年 4月 1日
発行 三田ヶ谷公民館
TEL 565-0040

“春”に新しい本を読みませんか？



- 『パンどろぼう』(柴田ケイコ、KADOKAWA)
- 『佐藤愛子の一喝箴言集「なんのこれしき!」』(佐藤愛子、きずな出版)
- 『名探偵コナンの小学生のうちを知っておきたいお金と世の中』(小学館)
- 『つたえるのルール』(双葉陽:マンガ、池田書店)
- 『サンセット・パーク』(P・オースター、柴田元幸訳、新潮文庫)

側溝清掃を実施しました！

3月14日(土)、公民館敷地内の側溝清掃を行いました。
落ち葉や土がたまっていたのですが、力を合わせて側溝はスッキリ！
ご協力いただきました体育振興会の皆様、ありがとうございました。



三田ヶ谷グラウンド・ゴルフ大会

春季大会 令和8年3月7日開催

- ◎優勝 赤坂 賢二様
- ◎準優勝 鈴木 芳男様
- ◎第三位 関根 春巳様

健康運動教室:4月1日(水) 午前10時~11時30分
はつらつ教室:4月24日(金) 午前10時~11時

犬の集合狂犬病予防注射のお知らせ

日時:4月10日(金) 午後1時00分~2時45分
※午後1時30分開始 2時15分受付終了
問合せ:健康づくり推進課 (☎561-1121)



			4			
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4月、5月の休館日

毎週火曜日、4/29(祝)、5/3~6(祝)



「いいでえー！！三田ヶ谷！ ～歴史と文化～」

(第23回 日記に記された商店)

先月号で、円照寺や千代田駐在所の前を通る街道について紹介しました。ここにはかつて多くの商店が建ち並び、小説『田舎教師』の主人公のモデル**小林秀三**(こばやしひでぞう)が勤務した**弥勒高等小学校**もありました。

数ある商店の中に、「**宮沢屋**」というお店がありました。創業は古く、小林秀三が弥勒高等小学校に勤め始めた明治34年には開店していました。というのも、**秀三の日記**に宮沢屋が登場するからです。明治34年5月13日付けで、次のように記されています。

今日は**宮沢商店**に行きて通を取りぬ、一切の者ここにて間に合ひ、都合のよきことかぎりなし。夜、藤原氏に手紙書いて宮沢氏のあす羽生に行くに頼めり。

当時の宮沢屋は雑貨を扱っていたようです。一切のことが同店でまかなえ、とても都合がよいと絶賛しています。店は学校に隣接していたことから、秀三のほかにも利用する教員は多くいたでしょう。

同年5月20日、秀三は給料の残りの8円35銭を受け取ったため、宮沢屋に料金を支払ったことが日記に書かれています。着任したばかりでしたが、その後も料金はツケにしてもらい、後日まとめて払っていたかもしれません。

『**田舎教師**』は、秀三の日記を基にして書かれたことはよく知られています。作者の**田山花袋**(たやまかたい)は、実際に弥勒に足を運び、小学校も訪ねました。日記を読み、**現地調査**を行っているということは、街道を歩いて宮沢屋を目にしたことは間違いのないでしょう。花袋のエッセイや回想録では記されていませんが、実際にお店に入った可能性もゼロではありません。もちろん、宮沢屋以外の商店も目にし、小林秀三の気持ちになって街道を歩いたはずですよ。

弥勒にやってきた花袋が、実際に入ったのは**小川屋(杉田屋)**です。その日、学友であり義兄でもある**太田玉茗**と一緒に訪ね、小川屋(杉田屋)で一献交わしたのでした。



小林秀三の日記によると、小学校勤務の辞令を貰ったのは、明治34年4月24日でした。もし勤務地が弥勒でなかった場合、本庄の可能性があったようです。

